令和８年 10 月の思いやり通信

ペロブスカイト寿命 1.5 倍　　世界最高水準

東芝・信越化学が開発

＊東芝と信越化学工業は新潟大学と連携し、耐久性を先行品の 1.5 倍に高めた次世代ペロブスカイト太陽電池を開発。2030 年代の製品販売を目指します。

*シリコン太陽電池にペロブスカイト太陽電池を組み合わせる「タンデム型」と呼ばれる発電効率の高い太陽電池を商品化。

*フィルム型に比べて理論上の発電効率が 3 割ほど高くなります。

（2026 年 9 月 9 日　日本経済新聞記事より抜粋・引用）

CO2 で地熱発電　国内初　　立地制約少なく普及後押し

大成建設、地下水不要で脱炭素に貢献

＊世界有数の火山国である日本での地熱発電の潜在力を生かすため、大成建設は 5 年ほど前から地熱技術開発と共同で CO2 を熱媒体とする地熱発電技術の基礎研究を進めてきました。

*掘削した穴から低温の CO2 を地下に注入し地熱で温める方式。

*その CO2 をくみ上げてタービンを回して発電し、再び冷まして地下に戻します。

*2024 年をめどに CO2 を使った地熱発電の事業化に着手します。

＊日本の地熱資源量は約 2347 万ｷﾛﾜｯﾄで、米国、インドネシアに次ぐ世界第 3 位。

（2026 年 9 月 9 日　日本経済新聞記事より抜粋・引用）

